

桑園除草剤の秋冬期処理

農業研究センター 農産園芸研究所 蚕業部

研究のねらい

現在、桑園の除草は、春から秋にかけての雑草繁茂期に除草剤やロータリー耕うんなどで行っている。しかし、除草作業は他の農作業と時期や労力で競合しやすいので能率的適切な除草ができない場合がある。

したがって、特に春先の除草作業の省力化や経費の節減などを図るため、比較的労力に余裕がある秋期から冬期にかけて、抑草効果の高い土壌処理型除草剤を用いた桑園雑草防除方法を検討した。

研究の成果

1. 秋冬期(11月から1月まで)の雑草が発生する前に、DBNとDCMUの混合粒剤を処理することによって、春期桑収穫期である5月末までの長期抑草が可能となった。
2. 秋冬期の除草剤処理によって、冬草や春草の発生が抑制されるため、春先の除草作業が不必要となり、従来使用していた茎葉処理型除草剤の経費が節減可能となった。また、この時期の農作業(春切、施肥、病虫害防除等)との競合がなくなった。
3. 秋冬期除草剤散布は、桑の休眠時期に処理するため、桑に対する安全性が高い。したがって、従来の桑発芽直前の除草剤使用による薬害の心配がなくなった。
4. 秋冬期と夏期の年2回の除草剤処理によって、桑園の雑草防除が可能となった。

研究の成果

- (1) 除草剤の使用に当たっては、使用量・使用上の注意を厳守する。
- (2) 山間高冷地では積雪前に処理する。

図1 桑園除草剤の上手な使い方 (秋冬期除草方法)

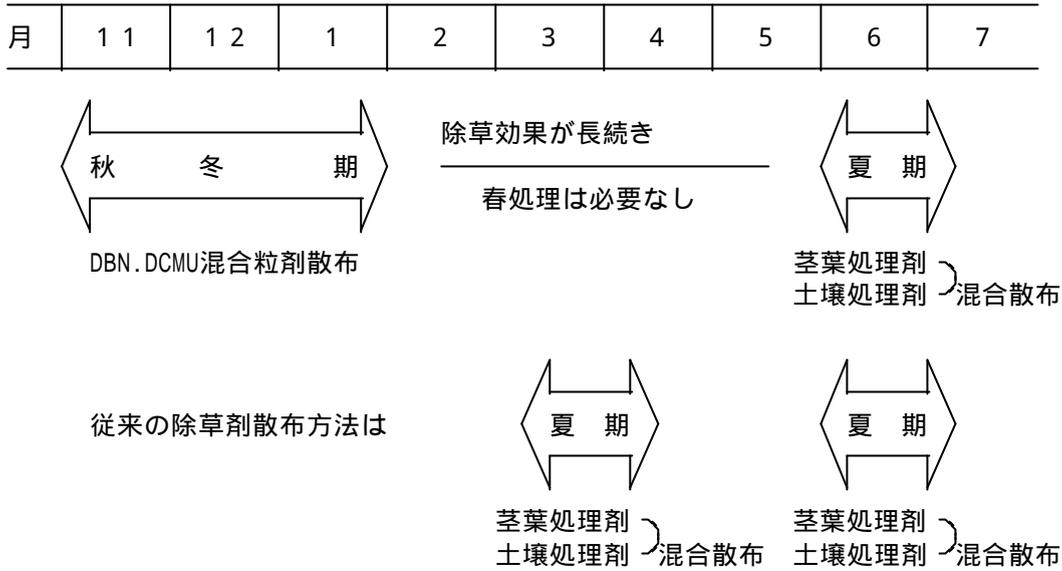


表1 DBN(3%)DCMU(2%)混合粒剤使用基準

対象	特性	適用土壌	散布時期	10a当たり使用量
既設桑園	土壌処理剤	砂土を除く全土壌	雑草発生前～発生初期	6～9kg

散布方法	除草効果の高い雑草	除草効果の低い雑草
土壌全面散布	メヒシバ ヨモギ ギシギシ スギナ	チガヤ ハマスゲ ササ

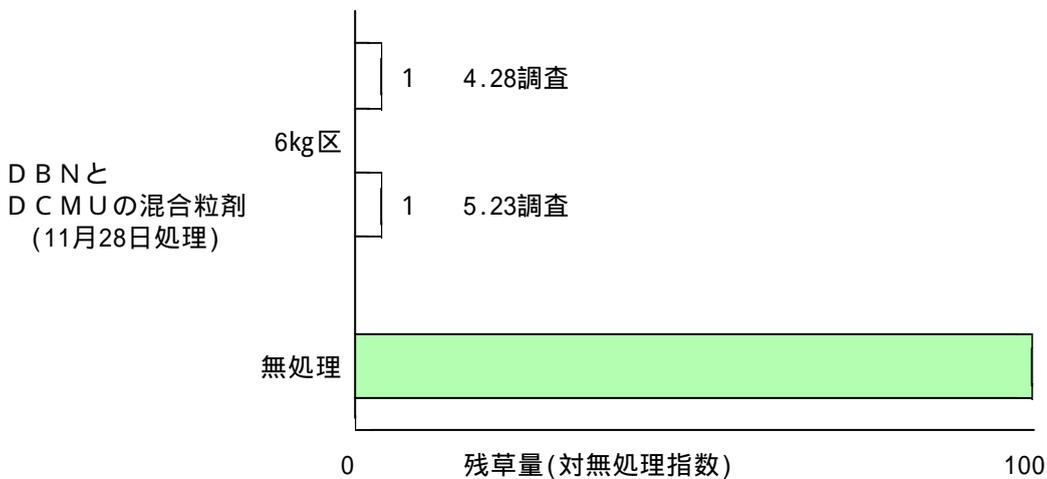


図2 除草効果